

サイボーグ009



はるなちゃん



佐武と市捕物控



石ノ森章太郎

1938年1月25日・宮城県中田町生まれ。県立佐沼高校2年のとき「二級天使」の連載という異例のデビューを果たす。講談社児童まんが賞、小学館漫画賞、日本漫画家協会賞グランプリ、'97アジア漫画サミットアカデミー大賞、コロムビアゴールデンディスク賞、ゴールデンヒット賞、1990年度最優秀プロデューサー賞など、多岐にわたりあらゆる賞を受賞している。

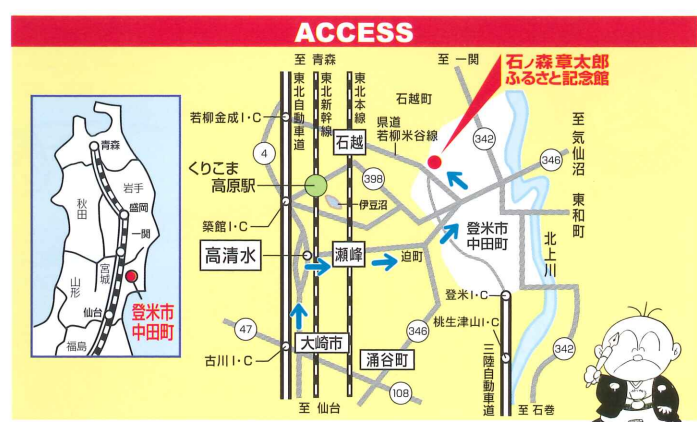
代表作に「サイボーグ009」「快傑ハリマオ」「仮面ライダー」「がんばれロボコン」「幻魔大戦」「さるとびエッちゃん」「秘密戦隊ゴレンジャー」「HOTEL」「マンガ日本の歴史」「佐武と市捕物控」など、枚挙にいとまがない。

——創作活動以外にも、(社)日本漫画家協会常務理事、日本テレビ番組審議会委員、経済企画庁・経済審議会委員、文部省・児童生徒の読書に関する調査研究協力者会議委員、太陽の会理事長、マンガジャパン代表世話人などの要職を「マンガ界の第一人者」として、その責を全うした。中田町から2人目となる、名誉町民章も1989年に受けている。1998年1月急逝、享年60歳。

——没後、生前の偉業に対して、以下の各賞(章)が授与された。

勲四等旭日小綬章、日本漫画家協会・文部大臣賞、手塚治虫文化賞・特別賞、ASIA MANGA SUMMIT TAIPEI 漫画精神奨など。

そして2008年、角川書店発行の『石ノ森章太郎萬画大全集』が、「1人の著者が描いたコミックの出版作品数(計770タイトル・500巻)が世界で最も多い」として「ギネス世界記録」に認定された。2001年7月には「石ノ森萬画館」(宮城県石巻市立)がオープン。個人として2つの公共施設を持つこともギネス級の快挙である。



- お車・電車・高速バスの場合
- 東北自動車道……関東方面—古川I.C—若柳金成I.C(県道4号線を30分)
 - 三陸自動車道……利府中I.C—石巻I.C—登米I.C(県道201号線を10分)
 - 東北新幹線……東京—仙台—くりこま高原(レンタカー・タクシーで30分)
 - JR東北本線……仙台—瀬峰—石越(バス・タクシーで15分)
 - 仙台佐沼線……仙台駅前(さくら野)—登米市役所前(バス・タクシーで10分)

入館料

- 通常時
- ▶大 人: 500円 [400円]
 - ▶中高生: 300円 [240円]
 - ▶小学生: 100円 [80円]
- ※[]内の団体割引料金は、20名様からご利用いただけます。—なお、小学生未満、及び身体障害者(介護人1名含)の方は、無料でご入館いただけます。
- 特別企画展示開催時
- ▶大 人: 700円 [550円]
 - ▶中高生: 500円 [400円]
 - ▶小学生: 200円 [150円]
- ※常設展示・ビデオシアター・企画展示室・生家への入場がセットになります。



※内側、左脇にあるカフェ「たばこや」は軽食もでき、くつろげる空間です。

ご利用時間

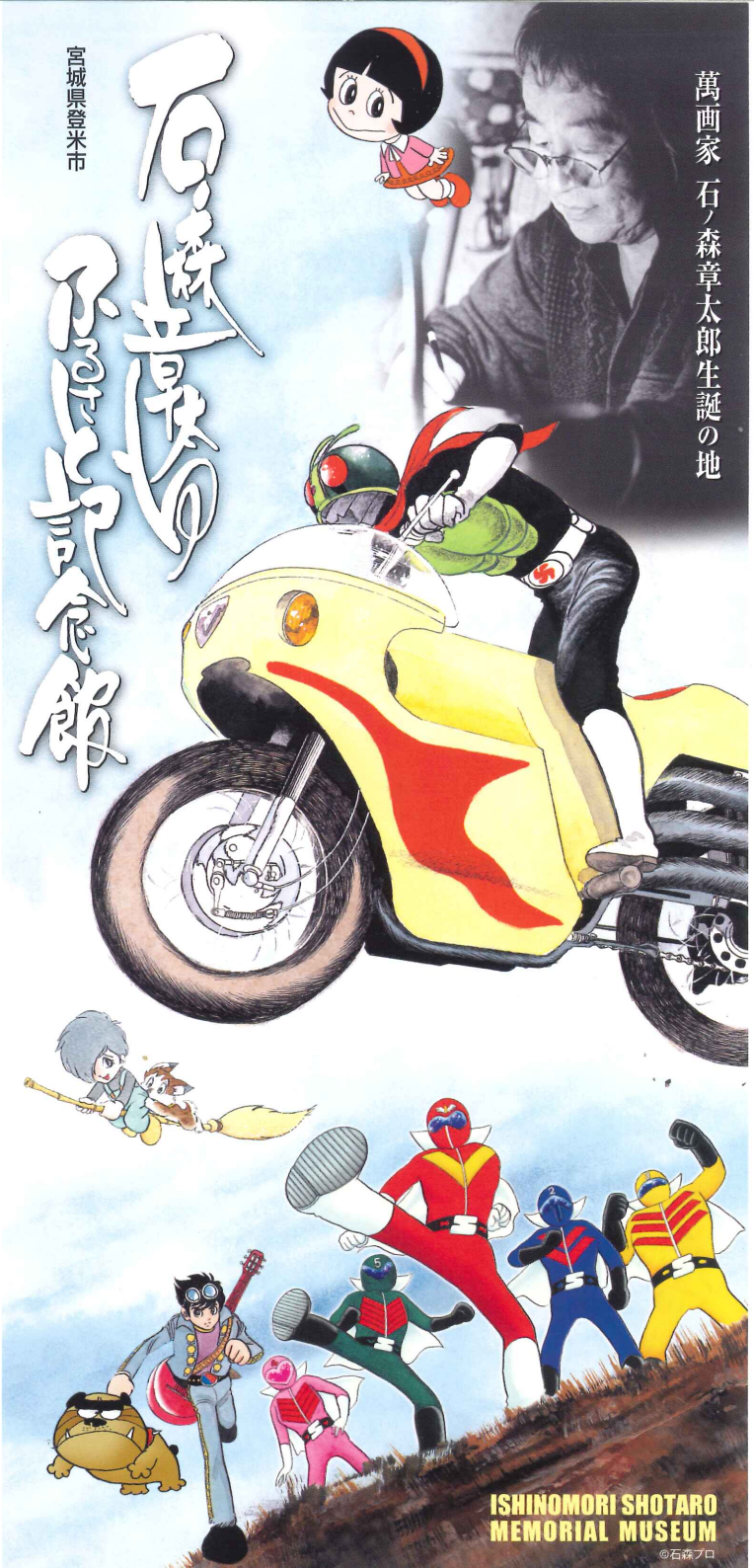
- 開館時間 — 午前9時30分より、午後5時まで [ご入館は4時まで]
- ※夏季[7/1~8/31]については、午前9時からの開館となり、午後6時[ご入館は5時]までとなります。
- 休館日 — 毎週月曜日/年末年始 [12月29日~1月3日]
- ※月曜日が祝祭日の場合は、その翌平日がお休みとなります。

お問い合わせ: 石ノ森章太郎ふるさと記念館 TEL/FAX 0220-35-1099

〒987-0601 宮城県登米市中田町石森字町132番地

<http://www.city.tome.miyagi.jp/kinenkan/>

work by SPEECH・BALLOON 2015.03.



宮城県登米市

萬画家 石ノ森章太郎生誕の地

ISHINOMORI SHOTARO MEMORIAL MUSEUM

©石森プロ

石森章太郎記念館



萬画文化との融合を図っていくための器が、ミュージアムであり、街全体が“器”となり、萬画文化を育ててゆくことをめざしています。——ミュージアムは単にモノを集め、展示するだけでなく、文化を継承、育成し、人々に教育普及をしていくインキュベーターである。を、基本理念としつつ、来訪者に“憩いの時間の中”で自由に空間を過ごしていただき、石ノ森章太郎先生の優しく、あたたかい人柄を偲ばせる…そんな空気感のある“場所”を演出していきます。

石ノ森章太郎生家

記念館の門を出れば、すぐそばにあります。生家では、ここ石森の四季折々の生活習慣などをご覧いただけます。生家にお越しの際は、先生が好きだった、庭のもみじの木をご覧ください。



エントランスに入ると、まず暖炉、そしてその後方には、ガラス張りの中庭が目飛び込みます。そこにはスケッチするジュンの姿が…。右側には常設展示室、左側は企画展示室となっています。



企画展示室

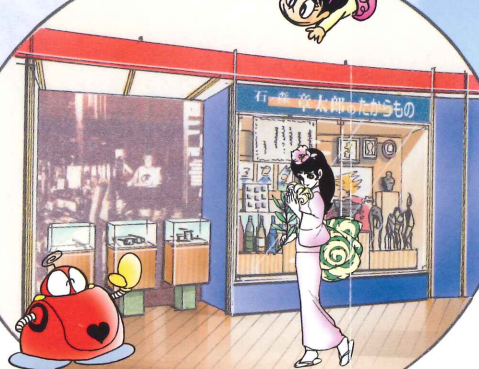
著名な漫画家の先生方による特別展を年間通して開催しています。普段見ることの出来ない原画や色紙など、多数の作品が展示されています。

※屋内だけでなく小川のせせらぎや、テーマウォール、テーマウィンドウ等、屋外展示もお楽しみ下さい。

常設展示室

入り口には“投稿するボク”と題された石ノ森先生の子どもの時代のフィギュアが設置され、その足元から、強化ガラスでガードされた“床下展示コーナー”が、館の奥まで展開されています。ここでは、石ノ森先生の歴史が、ビジュアル的に、楽しく紹介されています。プレイベートで描かれた絵の展示もすこいですが、圧巻なのは、電気仕掛けのジオラマコーナーです！

たかからのコーナーには、石ノ森先生が大切にしていた宝物のほか、トキワ荘時代より使い続けたペン軸等、愛用品の数々が展示。



※村野守美先生の手により、「小川のメダカ」の絵コンテは70枚程描かれました。また、原画枚数は総頁15分まで7千枚以上と、通常の3倍の量で制作されています。



ビデオシアター 兼 研修室

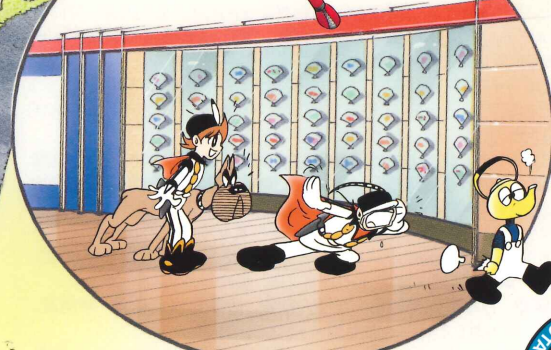
常時上映される「小川のメダカ」は当館オリジナルアニメであり、監督にアニメ界の鬼才・村野守美、制作はハリウッド映画界でも有名なマッドハウス。と豪華版です。なお本作品は、2003年度の第二回「東京国際アニメフェア・コンベンション」アニメ作品部門において、優秀作品賞を受賞しました。

原作：石ノ森章太郎 ● 上映時間15分



ライブラリー

図書ライブラリー、デジタルライブラリー、ビデオライブラリーの三部門から構成され、石ノ森先生の作品が閲覧できます。



45名の漫画家描き下ろし“お祝い扇子”が目を楽ませしてくれるほか、トキワ荘も再現され、愛用品、宝物なども展示されています。

※ロゴタイプは、「釣りキチ三平」等でおなじみの矢口高雄先生。なお、矢口先生には「石ノ森塾」二代目塾長もお願いしています。

©石森プロ